

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 山根 正夫	職名 教授	学位 教育学修士
----------	-------	----------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
障害児保育・発達障害児(者)の支援方法・応用行動分析・保育ソーシャルワーク	障害児保育・発達障害・自閉スペクトラム障害・応用行動分析・保育ソーシャルワーク

研 究 課 題
障害児・者の支援全般について行動分析的視点から考察する。 保育におけるソーシャルワークのあり方に関する検討。

担 当 授 業 科 目
子ども家庭福祉論 障害児保育 社会的養護Ⅰ 社旗的養護Ⅱ 特別支援教育論

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 子ども家庭福祉論 】</p> <p>社会福祉士養成のための必修科目であり、遠隔授業でパワーポイントを利用して講義したが、学生個々のその時々への反応の確認が困難であった。授業の途中で学生に語り掛け応答することで理解の深化に勤めた。</p>
<p>授業科目名【 障害児保育 】</p> <p>3年生子ども家庭福祉コースのみが受講。演習系科目であり、副読本についてノート作成し提出を求め、点検の上返却した。また、お互いに分担して調べた内容について、プログラム準備、プレゼンテーション、ディスカッション、教員による解説の流れで授業を進めた。学生にとって自分の担当課題は理解が深まっているがそれ以外の講義内容の理解についてはばらつきが大きいため、各々の授業のまとめの中で補足的解説をして理解を深めるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【 社会的養護Ⅰ・Ⅱ 】</p> <p>3年生対象科目で、Ⅰは、学科学生が選択できるが、Ⅱについては子ども家庭福祉コースの学生のみが受講できるが、Ⅰは講義科目であり社会的養護の概要について教員が作成したパワーポイント資料をもとに解説した。Ⅱについては演習系科目として、テキストを参考にして、課題について学生が調べ、プレゼンテーション・討議を通して学習を深める方法をとった。学生がやや制度面にだけ焦点が向けられるきらいがあり、個々の生活実態の臨床的な側面からの学習の深化を得ることができるように解説を加えた。</p>
<p>授業科目名【 特別支援教育論】</p> <p>4 学科合同授業であり、遠隔授業であった。それぞれの学生のレディネスが不明の為、授業中に各学科にまたがって確認しつつ講義を進めた。7 回の授業であることから十分に理解を深めることができるように参考文献等を提示した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本保育学会 福岡教育大学附属障害児治療教育センター研究部員 日本保育ソーシャルワーク学会		平成12年11月～ 平成22年4月～ 平成28年～

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 保育・幼児教育・子ども 家庭福祉辞典	共著	2021年6月	ミネルヴァ書房	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の中で、「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活とのかかわり」の項を担当執筆した。
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)
なし			

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考
なし			

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
九州市児童福祉施設等第三者評価委員会委員 北九州市福祉事業団評議員 社会福祉法人福音会評議員 社会福祉法人喜久茂会理事 北九州市社会福祉審議会委員 北九州市社会福祉協議会評議員	会長 児童福祉部会長	平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月 平成 29 年 4 月～令和 3 年 6 月 平成 29 年 11 月～現在至る 平成 29 年 11 月～ 平成 29 年 4 月～令和 3 年 3 月 平成 29 年 4 月～令和 3 年 3 月

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

学生総合支援室長 倫理審査委員
